

平成 30 年 1 月 26 日

報道関係者各位

山県市

Web を活用した学校図書管理の先駆的な取組 蔵書管理システムを市長が訪問・図書会員登録

1月29日(月) 桜尾小学校図書室

山県市（市長 林 宏優、以下当市）では、昨年度に Web を活用した学校図書館蔵書の管理システムを導入し、学校図書館蔵書のデータベース化、ネットワーク化を進めています。1月29日（月）に、本システムを先行導入して本格利用を開始している山県市立桜尾小学校（学校長 山下敦子 以下桜尾小学校）を、市長が訪問し、実際に図書館会員登録を行います。

なお、導入したシステムは、リブライズ合同会社が運営するコミュニティ型図書館 Web システム『リブライズ』で、このシステムの導入は全国の公立小中学校では桜尾小学校が全国初となっています。

当市は、市内の全市立小中学校 12 校および教育センターの蔵書管理や貸出管理のネットワーク化を目指しており、学校図書館の開放による地域住民への蔵書貸し出しなども視野に入れながら、学校図書の有効活用を図ってまいります。（平成 30 年度に全校システム整備完了予定）

1月29日（月）に、市長が、全蔵書のシステム登録が完了している桜尾小学校の図書室を訪問し、システムを使った検索などの利用方法を桜尾小学校図書委員の児童より説明を受けるとともに、実際に図書会員の登録を行います。

また、今回の新たな取り組みを記念して、市長より桜尾小学校図書館に本が贈呈されます。

■市長視察概要

場 所	桜尾小学校（岐阜県山県市伊佐美 706-1）
日 時	平成 30 年 1 月 29 日（月）10 時～ ※当日開催される「総合教育会議」に併せて視察が行われる予定です
内 容	1.市教育委員会職員による管理システムの説明 2.図書委員児童による利用方法の説明と市長図書会員登録 3.市長図書贈呈
主な出席者	市長、教育長、教育委員 学校長、桜尾小学校児童

《参考資料》

リブライズについて

リブライズは、リブライズ合同会社（本社：東京都世田谷区、代表社員：地蔵真作、河村奨）が開発・運営をするコミュニティ型図書館 web サービスです。

「すべての本棚を図書館に」をテーマに掲げ、まちライブラリーを始め、コワーキングスペース、オフィス、大学、カフェ、海外の日本人コミュニティなど、セミパブリックな蔵書を貸し借りする関係をつなげ、誰でも簡単に、本によるコミュニティを形成するツールです。2012年9月にFacebook アプリアワード（主催 株式会社サイバード）コンテストの部でグランプリを獲得、2013年10月には2013年度グッドデザイン賞を受賞。（リブライズ社HPより抜粋）

リブライズ合同会社 Web サイト <https://librize.com/ja>



【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市教育委員会 学校教育課 恩田・平野

Tel : 0581-22-6844 Fax : 0581-22-6851

Mail : k-gako@city.gifu-yamagata.lg.jp